

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2017年 4月 7日公開
アミールからの個人的メッセージ

もう一回試してみます。何故だか分かりませんが、何かこのフェイスブックライブを邪魔しているようです。でももう一回言います。とても大事な事なので、また、このために私は今これをやっているのです、もう一回やってダメなら、出来るまで何度でもやりますよ。

このたび、フェイスブック上のニュースを、利用者が通報出来るようになったとのことです。まず、何故それが興味深いのかというと、それは、その情報がフェイクニュースかどうかを誰が判断するのでしょうか？昨日（2017年4月6日）アメリカがシリアの航空基地を攻撃する何時間も前に、私は、その特定の航空基地から化学兵器攻撃が行われたと報道しました。さらに私は、パイロットの名前も報じました。主任パイロット、飛行中隊司令官であること、彼の飛行機の機種全てです。すると、当然のことながら私のところには数々の攻撃がありました。

「これは事実ではない」

「アサド政権ではなく、実際は反政府勢力が攻撃したのだ」

しかし、私たちは知っているのです。イスラエル軍の諜報機関は、誰が、いつ、どのように行ったのかを正確に知っています。ちなみに、だからこそトランプ大統領はあの特定の航空基地を攻撃したのですよ。では、何故私はこんな事を話しているのか？それは、もし「Behold Israel が偽ニュースを配信している」と何百という人々が、フェイスブックに通報したらどうなるか、想像できますか？フェイスブックから、我々を取り下げるには、それだけで十分なのです。ということで、私から皆さんに次の事をお願いします。もし、引き続き、「本物のニュース」、重要なニュースを即時に受け取りたいのなら、皆さんが行わなければならないのは、

- ① ニュースレターの登録。今後、私は週に一度だけではなく、何か重要なことが起こるたびにニュースレターを配信しますので、皆さんはEmailで受信いただけます。
- ② You Tubeチャンネル登録をしてください。そうすればYou Tubeでライブ配信が出来るようになります。You Tubeはフェイスブックではなく、グーグルの所有ですからね。
- ③ Behold Israelの無料アプリをダウンロードしてください。そうすれば、何かが起こるたびに皆さんの所に通知が届きます。もちろん、アプリの中に我々のホームページも入っていますので、そこから全ての記事を読むことが出来ます。アンドロイド、アップル、それとウィンドウズにも対応しています。

なぜこんなことを言うかということ、フェイスブックの代わりを備えなければならないからです。もちろん私もフェイスブックを続けたいですが、我々を攻撃してくる要素があまりにも多く、その上今度はこのフェイクニュース通報という、我々を締め出すための新しい要素が加わりました。この事を私は、ずっと言い続けてきましたが、ほんの30分くらい前に、私が標的にされているのが分かりました。もしフェイスブックでライブが出来なくなった場合、You Tube LiveやInstagram Liveが出来るようになります。私はこれからも、中東から様々な事をお伝えし続けたいのです。私には素晴らしいコネクションがあり、情報源があります。だから、これからも続けていきたいと思っています。そのためには、フェイスブック

はとても良い所だったのですが、敵は、我々がフェイスブックで引き続き働きかけていくことを何としても阻止しようと、必死で動いています。敵は、真のニュースを遮断して、神の人々の目を盲目にし、真実を見えなくさせるために必死になっていると、強く思います。これが私にとってはとても悲しいのですが、間違っただけの情報を流しているとか何とか、インターネット上で私を攻撃してくる人の大半がクリスチャンです。私はここ(イスラエル)に住んでいるのです。あなたは住んでいない。私には、あなたが入手できない情報を知る術があるのです。私はあなたの知らない人々を知っています。そして、私は聖書を原語で読みます。あなたは、違います。信頼できる情報を流している代替ウェブサイトとして、もう少し私を信用しても良いんじゃないかと思いますが。皆さん、もし「ここから攻撃していた」という、あの情報が信用できないものだったなら、こんにちの世界最強、最大国が、あの航空基地を攻撃したりしないでしょ。また、内戦が始まって以来、アメリカがシリアを攻撃したのはこれが初めてです。だから、私は言うのです。私にではなく、あなたがた(アメリカ)の諜報機関に賞賛を与えるべきです。これからも良い働きをしましょう。私の事をフェイクニュースだと言って批判して来る数の何千倍もの人たちが、私を支持してくださっているのも分かっています。それでも、残念ながらフェイスブックにとっては、一人か二人、もしくは三人が、私たちの事をフェイクニュースだと通報すれば、それで十分で全てが間違っただけの方向に進んでしまうのです。

ストックホルムのテロ(2017年4月7日、盗難された配送トラックで通行人を襲い、デパートに突入した事件。4人死亡、15人以上負傷。ウズベキスタンから亡命希望のISIS思想に傾倒した男が逮捕された。)についても、つい先ほど耳にしました。食料を運送していたトラックの運転手から、トラックを奪い取ったイスラム教徒が、人混みの中にまっすぐに突っ込んでいきました。これはフランスのニース(2016年7月14日花火見物の人々の列にトラックが突入。84人死亡、202人以上負傷)や、ドイツのベルリン(2016年12月19日、クリスマスマーケットの買い物客の列にトラックが突っ込み、9人死亡、少なくとも50人負傷)で起こったのと同じ類の攻撃で、それが今度はストックホルムで起こったのです。私は、スウェーデンで何が起きているかを知っていますから、全く衝撃も受けませんし、驚きもしません。ストックホルムやスウェーデンの他の地域に住んでいる過激原理主義イスラムが、どんどん出て来ています。スウェーデンの女の子たちは髪を黒く染めなければならないのです。金髪だとレイプの標的にされるからです。それ以外にも、実に多くの事が起こっています。それらの事から、これらの国で何が起きているのかが分かります。ギデオンが酒ぶねで小麦を打っていたことを思い出します(士師記6:11) 恐れのために、外で行うべき事を、洞窟の中で行っていたのです。それも、そこは彼の国だったのに。ギデオンは侵略者たちを恐れていたのです。略奪し、盗むために、彼らの国にやって来たミデヤン人達です。それと全く同じことが、スウェーデンで起こっています。彼らは、自分達の小麦を酒ぶねの中で打っているのです。ヨーロッパは今、フラフラで、とんでもない状態です。私に言えるのは、これは終わりではないということ。ISISのテロリストたちは今、はるばるヨーロッパに戻っています。だからイスラエル当局は、イスラエル人たちに過ぎ越しの間、西ヨーロッパには行かないようにと警告しているのです。そして、もし行くのなら人混みを避けるように、と。なぜなら、テロ計画に関する信じがたいような情報を、彼らは入手しているからです。それ以上に、これを言っても、あまりにも非現実的で、幻想のように聞こえるかもしれませんが、関連していることなのでお伝えしておきます。彼らは、我々が「汚染爆弾」(dirty bomb)と呼ぶものを使おうとしているというのです。汚染爆弾とは、一般の爆発物に化学物質や生物物質を入

れたもので、恐らく何百倍もの膨大な被害者を生み出します。我々には、化学兵器も生物兵器も ISIS の手中にあることが分かっています。ただの反政府勢力ではありません。ISIS です。ISIS はイラクで最大の領土を所有していて、北シリアにも最大の領土を持っています。これらの軍施設の多くは 2013 年の国連との化学兵器合意で、アサドが手放しているはずのもので、そしてこれらの軍施設の多くが、国連は立ち入りできず、ISIS によって支配されている地域です。皆さん言うておきます。事態は深刻です。また事態は——間違っただけなのか、正しい方向なのか、私には分かりませんが、一つ確かなのは、「良くない」ということです。これら全ての事から言えるのは、私たちはこれまで以上に主を信頼して、信仰の道に留まらなければなりません。私たちは信者として、

21 **私にとっては、生きることはキリスト、死ぬこともまた益です。**（ピリピ 1:21）

だから私達は恐れませんが、私達は、自分がどこに向かっているのか、はっきりと分かっていますから。でも、ここにいる私たちの全員は、この終わりの日の最後の時間を、これから何が起こるのか、世の中に警告を与えるために使いたいと思うのです。同時に、イエス・キリストにある希望も伝えるのです。この世の何が悪いのかを教えるだけでなく、2,000 年前の神の解決策も、彼らに伝えるのです。彼らに福音を伝え、希望があることが彼らに分かるように。道はあるのです。それが唯一の道であり、唯一の真実であり、唯一のいのちです。どうかみなさん、それを行ってください。そうすれば、私達は引き続き皆さんに情報をお伝えすることが出来ますから。フィルターを通らず、信頼のおける情報を皆さんに提供することが出来るのです。私達がそれをするために、皆さんのご協力が必要です。出来る限り、多くの人にこれをシェアしてください。そして、何度も言いますが、まだ登録しておられない方は、ニュースレター、You Tube チャンネルに登録してください。また、アプリのダウンロードもお願いします。フェイスブックを、私はあとどれくらい使えるかもわかりませんが、もう一週間もないと思います。

今日は素晴らしい日でした。私は皆さんをゴラン高原にご案内しましたが、それは見事でした。イスラエルがどれだけ安全で安心であるか、どれほどこの土地が改良され、耕されて、何百年も後に正当な所有者の手に戻って、それに土地が応えているのです。まさにエゼキエル 36 章にある通りです。

8 **…おまえたち、イスラエルの山々よ。おまえたちは枝を出し、わたしの民イスラエルのために実を結ぶ。彼らが帰って来るのが近いからだ。**

（エゼキエル書 36:8）

まさに、神が約束された通りです。そして主はまた、こう言われました。

24 **…すべての国々から集め、あなたがたの地に連れて行く。**

（エゼキエル書 36:24）

それから、エゼキエル 37:14 で、主は言われました。

14 **わたしがまた、わたしの霊をあなたがたのうちに入ると、あなたがたは生き返る。**

（エゼキエル書 37:14）

私達は土地に戻ってきたのです。これが終わりの時の、一番のしるしです。イスラエルが土地に戻った。そして土地は産物を生みます。土地は安全で安心、今はこれまでにないほど、最高の状態です。経済、失業率、株価。さらに在住国での満足度を尋ねたアンケートでイスラエルは、世界中で確か 10 位だったと思います。想像できますか？皆さん、これら全てを行われるのは、神です。そして神は、全世界の目を引こうとされているのです。聖書には、最後のラツパの響きと共に、我々全員がここを去ると書かれています。ということは、ラツパはもう既に吹かれています。何度も。そして、最後のラツパが鳴らされた時、我々はここを出るのです。民数記で、神がモーセに銀のラツパを二つ作るように言われた箇所（民数記 10:1~3）で、私は以前、いつも不思議に思っていました。何故二つなのか。何故銀なのか。何故ラツパなのか。

① まず、何故二つかといえば、神は全世界の注目を引くために、二種類の人々を使われるのです。

② 銀というのは、尊いがそれでも完璧ではない。

③ そしてもちろん、ラツパというのは、神が人々の注目を集めるために使われるものです。

そして、私が思うに、1948 年以來、私達にはこの二つのラツパがあるのです。教会とイスラエルです。イスラエルは土地に戻って独立国家となり、初めて教会と共存しているのです。教会が存在し始めて以來、ほとんどの期間をイスラエルはその地にいませんでした。イスラエルは独立国家ではありませんでしたし、イスラエルは土地の主権を握っていませんでした。主権を持った主権国家ではなかったのです。1948 年以來、神が私達を私たちの地に戻し、教会は存在しています。だから私たちは、神が世界の注目を引くために用いられる二つの銀のラツパとなったのです。そしてエルサレムは私たちの手に戻り、エゼキエル成就のため、全ての備えが整いました。それを理解するのに、あと何が必要ですか？間もなく最後のラツパが鳴り、我々はここを去るのです。私は超ワクワクしていますよ。しかし、出来る限り多くの人と一緒にいきたいのです。だから、私達は福音を拡散し、メッセージを拡散しなければなりません。また、私達がメッセージを拡散するために、今はフェイスブックもまだ使えますが、そう長くはないでしょう。ですから、どうかどうかどうか、他の手段を通して私たちと繋がってください。私達は代替の道を確認するため、一生懸命動いています。時が来て、フェイスブックが使えなくなっても、世界とやり取りすることが出来るように。ということで皆さん、シャバットシャローム！I love you all！私が疲れているように見えると言われましたが、確かに私は疲れています。40 日間、休みなしで働きづめですから。カリフォルニアから来ている 150 人と別れた後、私は飛行機でカリフォルニアまで行って、滞在中は 3 カ所でお話しします。でも、皆さんのお祈りに感謝します。家に帰った後は、二週間家族と家で過ごして休養します。

それから、新しいメッセージにとりかかります。新しいメッセージは、「ダニエルの 70 週目」。世間では多くの混乱が見られるので、それに関して私は明瞭にしていきます。それから、「見張り番について」。私達は見張り番の役を任されていると思うのです。多くの人が見張り番の意味や、そこにたくさんの責任があることを理解していませんが、皆さんはどうか見張り番でいてください。他にもたくさんのメッセージがあるのですが、聖金曜（受難日）はアメリカにいて、現在の情勢についてお話しします。それから最後にもう一つ、皆さんにお願いですが、フェイスブックでも You Tube でもコメントを書くとき、あなたが見張り番であることを認識するために、お名前とどこにお住まいなのかというのを、「Watchman from NY」とか「Watchman from Brazil」とか「Watchman from Netherland」というように書いてください。皆

さん、それに慣れなければなりません。今は終わりの時です。物事は地平線に見えていて、あなたはそれを知っていますが、世はそれを知りません。あなたはそれを彼らに警告しなければなりません。あなたはそれを知っているからです。あなたは高い所にいて、これらのことを見ているのです。あなたが好むと好まざるとに関わらず、あなたは見張り番です。ですから今後、皆さんがコメントを残すときは、自分が見張り番である、ということに慣れてください。そして私に教えてください。「I' m a watchman from〇〇」(私は〇〇在住の見張り番です) 見張り番として、自分を訓練し、自分を扱ってください。とても重要な事です。メッセージが完成し次第、皆さんにもお伝えします。文字通り、神が私に告げられた事ですから。現在、私達は城壁の見張り番であり、今は終わりの時です。そして神は、ご自分のために見張り番の兵士を備えておられます。だから、あなたも見張り番です。自分をそのように扱いましょう。

最後に、これも大切なことですが、引き続き、自分と家族で宣言してください。

15 私と私の家とは、主に仕える。

(ヨシュア 24:15)

この終わりの時、混乱と、おびただしく多くの誤情報や偽情報、背教が起こっていますが、皆さんは正しい道に留まってください。ということで、どうかどうかどうか、毎日毎日宣言してください。

15 私と私の家とは、主に仕える。

(ヨシュア 24:15)

それから、イエスに「来てください。」と言うのです。イエスは、ユダヤ人達に言いましたね。

39 あなたがたに告げます。『祝福あれ。主の御名によって来られる方に』とあなたがたが言うときまで、あなたがたは今後決してわたしを見ることはありません。』

(マタイ 23:39)

そして、私が強く思うのは、黙示録で

17 御霊も花嫁も言う。「来てください。」

(黙示録 22:17)

とありますが、聖霊と花嫁が一緒になって、イエスに戻って来てほしいと願うとき、来て、私達を連れて行ってくださいと願う時があるとすれば、それは今だと思います。なぜなら、イエスが来られたなら、私達は「来てください。」と言う必要はないのですから。聖霊が私たちと共にいて、私達が主の来られるのを期待する時があるとすれば、今でしょう。ですから、イエスがイスラエルの人々に、終わりの時、『祝福あれ。主の御名によって来られる方に。』と言うようにと言われたのなら、私達は「御霊も花嫁も言う。『来てください。』』と言うべきです。主イエスよ、来てください。もし、これが言えないなら、あなたは準備ができていないということで、あなたの人生の中で何か解決していない事があるのかもしれませんが。家族の事であったり…それは構わないのです。ただ、今こそそれらを解決する時、物事をまっすぐにする時です。

最後に、今日、皆さん全員にアロンの祝福をヘブル語で送りなさいと、主が私の心に強く語られていると感じるので、もし可能なら、皆さん、目を瞑って、手を前に伸ばして、祝福を受け取ってください。私から皆さんに祝福を送ります。良いですか？では、行きますよ。

(ヘブル語で)

- 24 『主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』

(民数記 6:24~26)

ということで、ガリラヤ湖より、シャローム！これからも皆さんと繋がっていきたいと思います。先ほども言いましたが、「Watchman」とコメントしてください。それから、あなたと、あなたの家は主に仕える、と宣言してください。そして、「花嫁を迎えに、戻って来てください」と主イエスの御名を通して、主に願いましょう。

Shalom from Galilee.

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りよくさんの為にも、お祈りください。

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO